

# ふくおか

# Map

そと

あ

そ

び

ば

【まちじゅうを子どもの遊び場に】 遊びは、子どもにとって生きることそのものです。子どもたちは野外での遊びの中で「自然」に触れ、さまざまな「人」と関わり育ちます。大人にとっては時にうるさく、汚く、危なっかしい「遊び」ですが、子どもにとってはそれこそが魅力です。五感を十分に発揮し、興味に応じて自分のペースで創意工夫し、チャレンジできることはとても大切です。子どもは遊びながら失敗を含むたくさんの実体験を重ね、人間として成長していくのです。



- ⑭子どもプレーパーク
- ⑮乳幼児プレーパーク
- ⑯放課後プレーパーク
- ⑰あかにこプレーパーク
- ⑱わくわくプレーパーク
- ⑲あそぼう！プレーパーク
- ⑳遊びの広場 おそらのしたで♪



- ㉑おおきな木プレーパーク
- ㉒トムソーヤのプレーパーク
- ㉓おいでよ みんなの遊び場
- ㉔きんしゃいきゃんぱす
- ㉕堤プレーパーク／鳥飼プレーパーク
- ㉖ほくらの遊び場 プレーパーク



- ㉗冒険遊び場 ふれあいわんぱーく
- ㉘ミニプレーパーク
- ㉙プレーパークおおもた遊ばせ隊



- ①きたQ冒険あそび場プレーパーク
- ②ミニプレーパーク
- ③そとあそび
- ④そとあそび のあのあ



- ⑤そとあそび ゆあゆあ
- ⑥きりがおかプレイパーク
- ⑦いつでもにわさきおさんぽプレパ



- ⑧あおぞらパーク
- ⑨にじパーク
- ⑩プレーパーク
- ⑪お外DEかてて
- ⑫ミニプレーパーク
- ⑬プレーパーク



## 福岡では・・・

福岡では、2000 年前後から活動が始まり、2013 年に福岡で行われた全国研究集会（NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会）をきっかけに、福岡プレバ連絡協議会が発足。プレーパークの主催者や行政関係者等が集まり月 1 回程度情報交換を行っています。

「自分の住んでいる地域にプレーパークが欲しい」「近所の公園に誰もいないので遊べない」等、いろんな思いに近くのプレーパークが応えてくれるかも。是非、遊びに行ってみてください。

## 行政と力を合わせて・・・

「このマップは『市民力のすごさ』を表しています。このように団体（市民）の皆さんが県内各地で外遊びの大切さを伝えていきます。行政として、これからもこの活動を支援していきたいと思えます。」（宗像市子ども育成課 吉田）



## プレーパーク（冒険遊び場）とは？

子どもが自ら遊びを発展させられる遊び場としてプレーリーダーを置いた「エンド ラップ廃材遊び場」（デンマーク：1943年）から始まり、イギリス、ドイツ、スイス、カナダ、オーストラリアなど、世界各地に広がりました。

日本では、1979年に民官協働で常設の「羽根木プレーパーク」が誕生し、2016年2月現在およそ400団体が冒険遊び場づくりに取り組んでいます。多くは市民が主体となり、公園の一角などを使って行われています。プレーワーカーや地域の大人が見守る中、自然の素材や道具・工具を使いながら、子どもが自ら遊んだり過ごしたりする手作りの遊び場です。